

<自主的努力項目記入書式>

提携先	静岡うなぎ漁業協同組合	記入日	2010/9/29
登録消費材名	うなぎ長焼き、うなぎ蒲焼カット、うなぎさっぱり焼き、きざみうなぎ		

**I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

昨年度はうなぎ稚魚が豊漁に恵まれ、組合員の皆様には沢山のうなぎを食べて頂きました。本当にありがとうございます。  
今年度のうなぎ稚魚は、一昨年同様不漁となってしまう、原料事情が大変厳しい状態となっております。しかし原料が少ないからと言って、以前のような緊急対応をして頂く事の無いよう、計画的な製造をし、組合員の皆様にはご迷惑をお掛けしないよう努力をして参ります。原料事情により生産についても日によってむらがあり、稼働率についてもまだまだ100%には戻っておりませんが、来年度は計画的な生産計画を立て、少ない原料ながら頑張ってお参ります。

**II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)**

- ・生産コスト低減  
うなぎ稚魚が豊漁だった為、年度の前半は原料価格の低下に伴い多少コスト低減は出来ましたが、本当の意味でのコスト低減は今だに出来ていない状況です。本年度は、工場に関わる全ての製品の製造工程や出荷体制を見直し、本当の意味でのコスト低減をして参りたいと思います。
- ・指定生産者を増やしたい  
前年度に地元生産者が1名増えましたが、現状では地元生産者が増える予定がありません。しかし他産地に数名ですが、全ての養殖記録の情報開示などを含め、生活クラブ様の基準をみたく生産者と話をすることが出来ました。最終的な話までは辿りついてはいませんが、生産者を増やして行くべく段階を踏みながら話を進めていき、生産者を増やしていきたいと思えます。

**III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

今年度も昨年度に続き

- ・生産コストの提言
- ・指定生産者を増やしたい
- ・新項目として生活クラブ消費材を使用したタレの開発

という目標に向かって頑張ってお参ります。

近頃うなぎの完全養殖に関するニュース等が報じられておりますが、商業ベースにのるまではまだまだ時間が掛かると思われ、稚魚については今までと同様に天然に頼るしか無いと思われれます。天然に頼っていれば必ず今年同様の不漁年がまたやってきます。静岡うなぎ漁業協同組合としましては、生産者の支援を含め、もう一度生産効率を考え再生産出来る体制作りを行って参ります。

**新項目について**

学習会等で「消費材を使用したタレを作ってほしい」との要望を多くもらいます。この要望に答えるべく新タレの開発についてもチャレンジして行きたいと思えます。